

2019年度 茨木市立太田小学校経営方針

校長 高穂 雅貴

1. 学校教育目標

自ら学び 自ら考え 主体的に判断して行動できる 心豊かな人間の形成

2. 教育方針

人権尊重の視点に立ち、一人ひとりの幸せを願いつつ、心身ともに健康でたくましく、しかも豊かな人間性を備えた主体的な社会人の育成をめざして、基礎教育の徹底に努める。

- (1) 児童が自ら学び、自ら考え、判断、行動し、よりよく問題を解決する力を育てる。
 - ・基礎基本を大切にし、一人ひとりに確かな学力を身につけさせる。
 - ・知的好奇心を持ち、自ら学習しようとする習慣・態度を身につけさせる。
 - ・主体的に課題を捉え、解決に向け、自らの力で進んでいこうとする意欲を育てる。
- (2) 一人ひとりの個性を認める中で、豊かな人権感覚と感性、自尊感情を育てる。
 - ・子どもが抱える課題、背景を理解し、一人ひとりに寄り添った教育を行う。
 - ・子どもが人間の尊厳、他の人の思い、相互扶助などを理解できる感性を育てる。
 - ・学校生活の様々な活動を通し、コミュニケーション能力の育成をはかる。
- (3) 心身ともに健康で、たくましく生きる力を身につける。
 - ・家庭と連携し、規則正しい生活習慣を身につけさせる。
 - ・危険に対し、自ら身を守る術、勇気を見つけさせる。
 - ・運動や遊びを通して、健康な体作りを目指す。

3. めざす子どもの姿

○豊かな心を持った子 ○自ら学ぶ子 ○最後までやりぬく子

- (1) 友だちを大切にし、助け合う子ども
 - ・一人ひとりの違いを認め合い、励まし合い、助け合う心優しい子ども
 - ・人の意見をよく聞き、互いに尊重し合い、高め合う子ども
- (2) 自ら考え、進んで取り組む子ども
 - ・様々なことに興味関心を持ち、進んで取り組む子ども
 - ・自らの力で考え、根気強く、工夫して取り組む子ども
- (3) 健康な心と体で、ねばり強くやりぬく子ども
 - ・素直な心で、決まりを守り、責任を果たす子ども
 - ・規則正しい生活習慣を身につける子ども
 - ・健康で安全に気をつける子ども
 - ・最後まであきらめないでねばり強く取り組む子ども

4. 取り組みの重点課題

(1) 学力・体力向上の一層の推進

(平成29年度～茨木市グローイングアッププラン)～3か年計画の最終年度で検証が求められる1年

○日々の授業実践こそ研究推進であるという認識に立ち、太田っ子スクールスタンダードに基づいた授業改善を進める

- ・幼小中連携の一層の推進
- ・体育授業を進めるとともに児童の運動習慣づくり、体力向上に努める
- ・算数科における習熟度別指導を進め、きめ細かな指導を充実させる
- ・本校では、平成29年度から校内研究科目を「国語」に設定。国語科の指導方法の探求を進める。また、読書活動の充実をはかる
- ・継続して、道徳、外国語活動の評価を含めた指導法の研究推進を図る。

【今年度の重点目標】

- ・『書く力』（記述力）の向上
 - ・家庭学習の充実
 - ・『国語が好き』『算数が好き』な子を増やす
 - ・体を動かすことが大好きな子どもを育てる
 - ・『学校に行くのが楽しい』という子を育てる
 - ・読書好きな子を育てる。
 - ・モジュール学習の再検証（計画・指導法・効果など）
- (2) いじめ防止の推進と豊かな心をはぐくむ道徳教育の推進
- ・いじめ防止基本方針の徹底、いじめ防止対策委員会の有効な活動
 - ・規範意識の向上や価値葛藤による、心に響く道徳教育の実践・充実をはかる（「夢や志をはぐくむ教育」の活用）
- (3) 一人ひとりの違いを認め合い、支え合う人権学習の推進
- (4) 保健・給食等にかかわる安全教育および防災教育の推進
- (5) 地域・保護者との連携
- (6) 教育委員会・SC・SSW・関係機関との連携

5. 望む教師像

社会人・組織人としての常識を身につけた魅力ある信頼される教師に！

- (1) 教育に対する誠意、熱意、使命感を持ち、個々の責任を発揮できる教職員
- (2) 職務に対し常に課題意識を持ち、積極的に実践・研修に取り組む教職員
- (3) 子どもの背景や課題を把握し、常に真摯に向き合い丁寧な指導を行う教職員
- (4) 家庭や地域との連携を密にし、子どもを共に育てていこうとする教職員
- (5) 互いに連携し、協力し合う教職員
- (6) 元気にあいさつをし、笑顔をたやさない教職員
- (7) 自分の責任を自覚し、積極的に学校運営に参画していく教職員
- (8) 互いに相手を尊敬し、謙虚な姿勢で相手に接する教職員

